

観 察 記 録 ノ ー ト

哺 乳 類

昆 虫 類

飯田市風越山ブナ林における ヒメネズミの記録

菅原 寛

飯田市風越山山頂（標高1535m）にあるブナ林は、ミズナラと混生し、林床はササで覆われている。そのブナ林で1997年5月27日にネズミ相調査を捕獲法（パンチュートラップ）で行った。餌は誘引性を高めるためにピーナッツにピーナッツバターを塗ったものを使用した。捕獲された個体の同定は、最終的には頭蓋骨の咬板前縁、上顎第1臼歯の根部でおこなった。

表1 ヒメネズミの捕獲個体データ

	個体1	個体2	個体3	個体4
性別	♂	♂	♂	♀
体重(g)	16.3	12.7	18.3	15.6
全長(mm)	167	140	181	173
尾長(mm)	96	62	96	93
後足長(mm)	17	19	20	18
耳長(mm)	11	18	14	19
備考			尾端 白化	未経産

結果、ヒメネズミ *Apodmus argenteus* (Temminck) が4個体確認された（表1）。性別の内訳は♂3個体、♀1個体であった。♀は未経産であった。♂は外部形態的繁殖状態（睾丸降下）は確認されず、今回捕獲された♂個体は、この時期繁殖状態になかったことがうかがえた。なお、オスの内1個体で尾端白化が確認された。

○参考文献

阿部永ほか, 1994, 日本の哺乳類, 195p. 東海大学出版会, 東京.

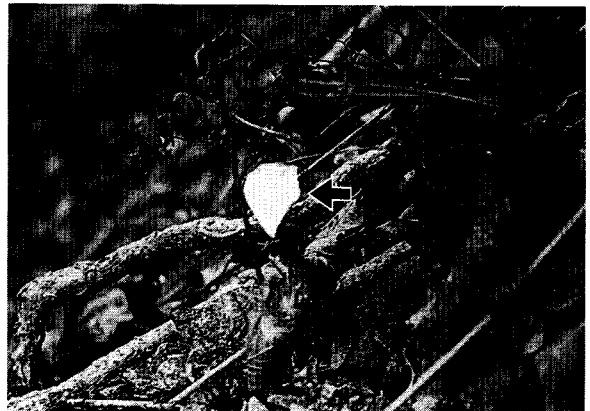
(すがわら ひろし/〒395-0076飯田市白山町

3丁目東6607)

長野県天龍村で越冬中の ウラギンシジミを観察

伊藤 寿

ウラギンシジミ *Curetis acuta paracuta* Nicéville の長野県における越冬個体の観察例は少ないようであるが、筆者は下伊那郡天龍村において越冬中の個体を観察しているので報告する。



アケビ葉裏で越冬するウラギンシジミ (←)

1999年1月2日午後3時頃、長野県下伊那郡天龍村中井侍において、林床のアケビの葉裏に静止するウラギンシジミ1♀を発見した。♀は触角を羽の間に入れ、羽を固く閉じ、アケビ小葉の先端方向を向いて頭をやや下方向に向け静止していた。地表面からの高さは約10cmであった。アケビ小葉は長さが2cm程しかなく、遠くからでもそれと分かるほど丸見えの状態であった。息を吹きかけてみると僅かに体を動かし、生きることが確認できた。

この個体が最初からこの場所で越冬に入ったのかどうかは不明であるが、越冬場所としてはあまりにも不適当な印象を受けた。なお、その後のこの個体の状況については確認していない。

(いとう ひさし/〒011-0901秋田市寺内字油田175
レジデンス桑原B207)